

中井宮農経済センターだより

令和4年5月

TEL81-2776



よみかた
西湘きんじろ

【う め】

病害虫防除 農薬の収穫前日数を遵守しましょう。

5月上旬

○カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫7日前 100ml/水100ℓ又は
モベントフロアブル 2,000倍 収穫7日前 50ml/水100ℓ

○黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 33g/水100ℓ

5月中旬～下旬

○黒星病・すす斑病 アミスター10フロアブル 1,500倍 収穫前日 66ml/水100ℓ又は
パレード15フロアブル 2,000倍 収穫前日 50ml/水100ℓ

収 穫

梅酒用：大きい果実から順次収穫し収穫後の直射日光は避けましょう。

漬梅用：青みが抜けた大きいものから順次収穫しましょう。

【いちじく】

病害虫防除 5月上中旬

○ネコブセンチュウ ネマトリンエース粒剤 収穫60日前 2kg/a (樹冠下処理、土壌によく混和する)

芽かき 5月中旬

手で取れる時期に芽数を整理し、結果枝の間隔を40～50cm程度にしましょう。

(狭すぎると着色不良の原因となります)

残す芽は基部に近い横芽にします。樹勢や芽の勢いによっては、上芽や下芽を利用する。

※植え付け一年目は芽かきをしない(将来結果枝のもとになるため)

【キウイフルーツ】

病害虫防除

5月上旬 花腐細菌病 環状はく皮

蕾白化期(がく割れ)5月1日頃に主幹に4～5.5mm幅で行いましょう。

5月中旬(開花前) **重要防除**

○カイガラムシ類・キウヒメヨコバイ

アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫前日 100ml/水100ℓ

摘 蕾 5月上旬～中旬

早期に側花や変形花を除去し、受粉効率と初期肥大を良くさせます。

5月の強風を考慮して花数の調整をしましょう。

受 粉 5月中旬～下旬

石松子を使った受粉 5～10倍 開花2～3日までに受粉しましょう。

溶液受粉 250～300倍 希釈してから2時間以内に使い切りましょう。

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【か き】

病害虫防除 4月下旬～5月上旬 重要防除

○カイガラムシ類・アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 収穫前日 25g/水100ℓ

○落葉病 エムダイファー水和剤 650倍 収穫45日前 153g/水100ℓ

摘蕾と人工受粉

摘蕾は伸長停止前後から開花期までに1結果枝に1蕾を基本とし、

残す蕾は結果枝中央部の下向き・横向きとする。受粉作業は開花から2～3日の間に行いましょう。

【温州みかん】

病害虫防除 5月中旬～下旬 重要防除

○灰色かび病・そうか病

フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 50ml/水100ℓ 又は

ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 33g/水100ℓ

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 収穫14日前 25g/水100ℓ

そうか病発生園ではフロンサイドSCを散布しましょう。*かぶれには注意しましょう。

夏肥施用 5月下旬

みかん配合 200kg/10a (吸収率を高めるため、6月中旬と2回に分肥すると根焼しにくい)

施肥後、軽く中耕します。反射シート被覆のため秋肥が施用できない場合は夏肥を多めにしましょう。

葉面散布 樹勢が低下している樹では尿素600倍を散布し、樹勢の回復を図りましょう。

【中晩柑】

病害虫防除 5月中旬～5月下旬 重要防除

○灰色かび病 ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 33g/水100ℓ

※灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布します(多発園は2回)

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 収穫14日前 25g/水100ℓ

湘南ゴールド・はるみ(かいよう病に弱い品種) 5月中旬～5月下旬 重要防除

○かいよう病【単用散布】

コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

+ クレフノン 200倍 500g/水100ℓ (薬害軽減のために加用する)

※マシン油散布とは2週間以上あける

湘南ゴールド、はるみ、レモンは、かいよう病に罹病しやすいので薬剤による防除をしましょう。

栽培管理・樹勢強化

葉面散布 5～8月に不知火・はるみの樹勢強化を目的に尿素600倍の葉面散布を行いましょう。

はるみは、着花量が多いと樹勢の低下につながります。

はるみ、不知火は上部1/3～1/4を摘蕾や早期摘果をし、樹勢の強化を図りましょう。

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【水 稲】

育苗箱施薬剤 育苗箱施薬は本田への防除軽減のために必要な防除です。

イネミズソウムシ
イネドロオウムシ
ウンカ類
ツマグロヨコバイ
いもち病
紋枯病
白葉枯病

エバーゴルフオルテ箱粒剤
播種時（覆土前）～ 移植当日 育苗箱 1箱当たり 50g

・「いもち病」や初期の害虫、「紋枯病」に高い効果を発揮します。浸透移行性に優れ、長い残効性があります。育苗箱処理でその後の防除が省け、防除回数の低減が可能です。

注) 育苗箱施薬剤と除草剤は区別して保管しましょう。

基肥一発型肥料

速効性肥料と緩効性肥料が入った、追肥のいらぬ省力型肥料です。

生育に合わせ窒素成分が供給されるため、利用効率が高まります。側条施肥にも適しています。

※ただし、天候や生育状況により追肥が必要になる場合もあります。

てまいらす 464 ネオ・スーパーナイスワン 30～40kg/10a

（栽培条件に応じて適宜増減してください）

キヌヒカリ、さとじまん、はるみ、てんこもりに使用できます。

【お 茶】

生葉管理

摘採した生葉を長時間かごや袋につめて茶園に放置すると、品質が悪くなりますので注意してください。

更 新

樹高が高くなりすぎた園や極端な芽数型の園は、深刈りや中切り更新をしましょう。

令和4年産米穀出荷契約（申し込み）をお願いします！

令和4年産米の出荷契約申込み受けを開始いたします。昨年度出荷された方には契約書類一式を郵送いたしますので、契約をお願いいたします。

なお、新規で契約される方は最寄りの営農経済センターまでお問合せください。

全国では米の需要量が減少し、令和3年産米の価格は大幅に下落しています。しかし、神奈川県では全国とは状況が異なり、県内の学校給食用米がまだまだ足りていない状況です。子ども達のため、県内産米の価格維持のため、1袋でも構いませんので是非とも出荷を検討いただき契約をお願いいたします。

提出期日：令和4年5月20日（金）

提出先：最寄りの支店

※期日を過ぎてからの契約数量の変更はできません。

※提出期日を過ぎた場合は、「出荷契約外米」の扱いとなり精算金のお支払いに1年以上を要します。事前の出荷契約申込みをお勧めします。

☆中井営農経済センターからのお知らせ☆

① 回覧・注文書の取りまとめについて

・カップ天国 ・秋馬铃薯種子 ・そら豆・玉ねぎ種子・玉ねぎ苗

申込締切日：令和4年5月9日(月)まで

・中井管内の方は、中井営農経済センター(到着)までお届け下さい。

・相和管内の方は、相和支店(到着)までお届け下さい。

・下中管内の方は、下中集出荷場(ポスト)・前羽ポスト・下中支店(到着)までお届け下さい。

② 果樹夏農薬・肥料の自己取りについて

下中管内 令和4年5月10日(火)・11日(水) 9:00～11:00まで

中井・相和管内 令和4年5月17日(火)・18日(水) 9:00～11:00まで

③ JA のおすすめ飲料特別価格についてのご案内

中井営農経済センター管内ではJAのこだわり飲料を4月から10月までの期間限定価格でご案内しております。ぜひこの機会にご賞味ください！！（商品は一例です）



※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。